北九州市児童福祉施設等

第　三　者　評　価

評価項目別結果票

事業者名

　〇〇〇　保育所（園）

評価実施日

　令和〇年　　月　　日

Ⅰ　子どもの発達援助

該当する判断基準は、（　）の中に記載。該当しない判断基準は、（　）の外に記載。

評価分類	評価項目		評価 a	評価 b	評価 c	評価 d	評価（または非該当）の理由
1　発達援助の基本	（1）全体的な計画	自己評価		○			該当する「判断基準」（アイウエ）オ 当園の保育理念や方針に基づき、地域の実態や保護者の意見を取り入れて作成している。特に人を大切にする保育に重点を置き、家庭支援研修の中で検討・見直しを行っている。保育計画の見直しは、毎年は実施していない。
		委員評価					該当する「判断基準」（　　） 判断基準が該当すると自己評価した理由を具体的な事例なども入れて記載。また、判断基準が該当しないと自己評価した理由は必ず記載。
	（2）指導計画	自己評価	○				該当する「判断基準」（アイウエオ） 子どもの姿を基に、クラス担任が年間・月間・週間の指導計画を作成し、自身の評価反省と所長のアドバイスを受け、次の計画を作成している。年度始めには会議の中で各クラスの年間目標を出し合い、子どもの姿や行事反省を基に職員で検討、見直しをしている。
		委員評価					該当する「判断基準」（　　）
	（3）保育の記録	自己評価	○				該当する「判断基準」（アイウエ） 北九州市の帳票の様式を使い、保育の記録の整備をしている。園内研修やクラス会議を利用し、必要な情報を職員に周知している。 帳票の記載は、午睡時間等に職員が交代で行い保育がおろそかにならない工夫をしている。
		委員評価					該当する「判断基準」（　　）

評価分類	評価項目	評価	a	b	c	d	評価（または非該当）の理由
1 発達援助の基本	（4）ケース会議等	自己評価	○				該当する「判断基準」（アイウエ） ケース会議を毎月１回開催し、子どもの発達課題、家庭との連携、クラスの問題、環境の見直しなどについて継続的に検討している。内容によっては、保護者に伝え、育児支援につながるように努めている。
		委員評価					該当する「判断基準」（　　）
2 健康管理・食事	（5）健康管理	自己評価	○				該当する「判断基準」（アイウエオカキ） 当園の健康管理保健年間計画に基づいて、健康対策に取り組んでいる。朝の視診や連絡ノート、その日の様子で、子ども一人一人の健康状態を把握している。 緊急連絡カードを整備し、緊急時の医療機関への連絡先をわかりやすく掲示している。
		委員評価					該当する「判断基準」（　　）
	（6）健康診断・歯科健康診査	自己評価	○				該当する「判断基準」（アイウエオ） 健康診断を受診する際は、子どもにわかりやすいように伝え、自分の体や健康について興味や関心が持てるよう保育に取り入れ、子どもに不安を抱かせないようにしている。 健康診断の結果を保護者に伝え、場合によっては専門機関と相談することを勧めている。
		委員評価					該当する「判断基準」（　　）

評価分類	評価項目	評価	a	b	c	d	評価（または非該当）の理由
2 健康管理・食事	（7）感染症への対応	自己評価	○				該当する「判断基準」（アイウエオカキク） 感染症への対応は、マニュアルを作成し、全職員が感染症に対応できるように周知の徹底を図っている。 感染症の流行期には、保健だより、クラスノート、掲示物等で保護者に情報を提供している。関係機関からの情報の他、嘱託医から感染症の情報を提供してもらうことも多い。
		委員評価					該当する「判断基準」（　　）
	（8）除去食	自己評価	○				該当する「判断基準」（アイウエオ） 除去食の「保育所におけるアレルギー疾患生活管理指導表」を提出してもらっている。毎月末に保護者、園長、担当保育者、調理員による四者での会議を行い、献立の検討と確認をとり個人記録簿に記載している。 配膳は専用トレイ・ネームプレートで区別し、間違いのないよう職員間で声に出し名前を読んで確認している。
		委員評価					該当する「判断基準」（　　）
	（9）給　食	自己評価	○				該当する「判断基準」（アイウエオカキクケ） 「食」が生きる力になるという認識をもち、保護者へ「食」の大切さを、給食試食会・レシピ配布・「給食室からのメッセージ」などで知らせている。子どもの気持ちを尊重し保護者と協力しながら、食に興味のもてるように取り組んでいる。調理員も子どもの喫食状況を確認し、把握している。
		委員評価					該当する「判断基準」（　　）

評価分類	評価項目	評価	a	b	c	d	評価（または非該当）の理由
2 健康管理・食事	（10）食事を楽しむ工夫	自己評価	○				該当する「判断基準」（アイウエオカキ） 園独自の食育計画を基に各クラスが楽しんで食事をし、正しいマナーが身につくような取組を行っている。子どもが畑で育てたグリーンピースを食べる機会を作っている。誕生会や行事の際には食事スタイルを工夫している。
		委員評価					該当する「判断基準」（　　）
3 保育環境	（11）保育環境構成	自己評価	○				該当する「判断基準」（アイウエオカキク） 子どもが心地よく安全に生活できるよう、保育室内・外の環境を整備し、衛生管理を行っている。 また保育士も人的環境になることを再確認し、努力している。 季節に合わせた環境整備に努めている。
		委員評価					該当する「判断基準」（　　）
4 保育内容	（12）人間関係（子どもの受容）	自己評価		○			該当する「判断基準」（アウエ）イ 子どもとの信頼関係を作るため、受容や共感を大切にしている。子どもの思いを言葉にしたり、意欲を引き出す言葉をかけたりしている。子どもの気持ちに寄り添いながら、保護者に子どもの気持ちを伝えたり、保護者の気持ちを子どもに説明したりしながら保育を進めている。しかし職員の対応に個人差が見られる。
		委員評価					該当する「判断基準」（　　）

評価分類	評価項目	評価	a	b	c	d	評価（または非該当）の理由
４ 保育内容	（１３）健康（生活習慣や生理現象）	自己評価	○				該当する「判断基準」（アイウエオカキク） 一人一人の子どもの家庭の背景や発達段階などの状況に応じた生活習慣の確立を目指し、子どもの意欲を大切にして保育している。子どもの発達に合わせた安全・衛生指導を行っている。
		委員評価					該当する「判断基準」（　　）
	（１４）遊びの環境	自己評価	○				該当する「判断基準」（アイウエオ） 昨年、年間を通して保育環境の見直しを職員会議で行った。子どもの姿やクラスの保育環境の情報交換を行ない、意見交換しながら見直しをしてきた。今年度も子どもが自由に玩具や遊具を取り出して遊べるようなコーナーづくりや、子どもの意欲を尊重した言葉がけについて、職員会議やグループ会議で見直すようにしている。
		委員評価					該当する「判断基準」（　　）
	（１５）環境（身近な自然や社会とのかかわり）	自己評価	○				該当する「判断基準」（アイウエオカキク） 自然に恵まれた環境にあるので、散歩を多く取り入れている。メダカやカブトムシの飼育や、せみ取りを楽しむ機会を作り自然との触れあいを大切にしている。近くの川の汚染問題を保育に取り入れ、環境問題にも関心をもつようにしている。
		委員評価					該当する「判断基準」（　　）

評価分類	評価項目	評価	a	b	c	d	評価（または非該当）の理由
４ 保育内容	（１６）表現	自己評価	○				該当する「判断基準」（アイウエオカキクケコ） 子どもの感性を育むために、自然や芸術に触れる機会を作るよう配慮している。視聴覚教材は必要に応じて計画的に取り入れている。行事に関しては、子どもにとって適切な経験となるよう指導計画を立て取り組んでいる。
		委員評価					該当する「判断基準」（　　）
	（１７）人間関係（子ども同士の関係）	自己評価	○				該当する「判断基準」（アイウエオカ） 遊びの中で人間関係が育つよう保育者は、適切な言葉かけや態度に配慮している。当番活動は、子どもの中から「やってみたい」という自発的な気持ちを大切にしている。異年齢交流は計画の中に位置付け実施している。
		委員評価					該当する「判断基準」（　　）
	（１８）言葉(話す、聞く)	自己評価		○			該当する「判断基準」（アウエオカク）イキ 今年度は特に「聴く力」を育てる保育について職員で検討し、各年齢で大事にすべきことを確認しているところである。小さい頃より話を聞いてもらうことの大切さを再認識した。今後、保育者が、子どもの言葉に適切に応答できるような環境づくりをしていく。
		委員評価					該当する「判断基準」（　　）

評価分類	評価項目	評価	a	b	c	d	評価（または非該当）の理由
４ 保育内容	（１９）子どもの権利を尊重する保育	自己評価		○			該当する「判断基準」（アイウエオキ）カク 人権に関する様々な問題に対して理解を深めるための研修にできるだけ参加できるよう研修計画を立て、職員一人一人が子どもの権利を尊重する保育に努めている。今後、さらに子ども同士が相手の気持ちや発言を受け入れお互いを尊重する気持ちが持てるよう援助していきたい。
		委員評価					該当する「判断基準」（　　）
	（２０）ジェンダー平等の理解	自己評価		○			該当する「判断基準」（アイウエオ）カ 一人一人の個性を大切にして決めつけや否定的な対応をしないよう配慮している。 固定的な観点で、男女別や役割分担をしていない。 今後、保護者への啓発に取り組んでいきたい。
		委員評価					該当する「判断基準」（　　）
	（２１-１）乳児保育	自己評価		○			該当する「判断基準」（アイウエオカキクケコサシ）セ 一人一人の子どもの状況に配慮し、特定の保育者が授乳やおむつ交換を行っている。保育者は、子どもの発達を促し、発育に応じて自ら意欲を持って活動できるよう援助している。保育者は、乳児保育の経験はあるが、乳児保育に関する研修に参加していない。今年度参加する予定である。
		委員評価					

評価分類	評価項目	評価	a	b	c	d	評価（または非該当）の理由
4 保育内容	（21-2）乳児保育 1歳以上 3歳未満児	自己評価	○				該当する「判断基準」（アイウエオカキクケコサ） 保育者は、一人一人の子どもの状況に応じて、応答的に子どもと関わっている。園外保育の際に、花や樹木、小動物を見る、部屋ではメダカを飼育するなど自然との関わりを持つよう工夫している。 乳児保育の研修の他に、人権研修にも参加し、子どもの人権擁護に関する理解に努めている。
		委員評価					該当する「判断基準」（　　）
	（22）延長保育	自己評価	○				該当する「判断基準」（アイウエオカ）非該当キ 家庭的な雰囲気を大切にし、一人一人の子どもがくつろいで過ごせるよう子どもとの関わりを大切にしている。保護者への伝達は、伝え漏れのないよう引継ぎノートと口頭で申し送りをしている。
		委員評価					該当する「判断基準」（　　）
	（23）障害児保育	自己評価			○		該当する「判断基準」（イウエオカキ）ア 障害児をいつでも受け入れられるよう、研修に積極的に参加し、障害児保育について所内研修を行うなど体制づくりをしている。気になる子どもに関しては、園内研修での意見交換や外部講師を招いた自主研修をするなど、子どもの発達や援助の方法等について学んでいる。今後は、障害児の特性に合わせた計画を作成し、保護者への啓発にも積極的に取り組みたい。
		委員評価					該当する「判断基準」（　　）

評　価　結　果　集　計				
	a	b	c	d
自己評価	１７	6	1	0
委員評価				

Ⅰ　子どもの発達援助

①　この評価対象全般に関しての意見を記入してください。

②　なお、評価とは直接関係ないと思われても、貴保育所(園)が重点的に取り組んでいる点などを記入されても結構です。

○　統一した全体的な計画を基に、年間･月間･週間の指導計画を立案し保育しています。一人一人の子どもの状態を把握し、理解受容することを基本にし、子どもの発達を促すための保育検討会を行っています。
特にケース検討会では、情緒不安定や発達の遅れ･家庭支援が必要と思われる子どもに対し、関わり方について話し合い、連携した保育に力を入れています。

○　安全保育を心がけ、事故防止等の各チェックリストを作成し、職員間で確認し、連携を強めているところです。

Ⅱ　子育て支援

評価分類	評価項目	評価	a	b	c	d	評価（または非該当）の理由
1 入所児童の保護者の育児支援	（24）保護者との相互理解	自己評価	○				該当する「判断基準」（アイウエオカキクケ） 連絡帳や家庭訪問、保護者との日常的な会話を通して情報交換を行い相互理解に努めている。クラス懇談会や子育て講演会を定期的に開いて子育ての悩みを共有するなど、気軽に相談できるような信頼関係づくりに努めている。
		委員評価					該当する「判断基準」（　　）
	（25）児童虐待	自己評価	○				該当する「判断基準」（アイウエオカキ） 子ども一人一人に対しては視診や着替えの際にチェックをしている。ケース検討会で気になるこどもについて情報交換をし、全職員で子どもと保護者を受容し、関係機関と連携を図りながら、問題が複雑にならないよう配慮している。
		委員評価					該当する「判断基準」（　　）
2 地域の子育て支援	（26）地域における子育て支援	自己評価		○			該当する「判断基準」（アウエオク）イカキケコ 担当保育者が年間計画を立て、なかよし保育(未就園児交流)をポスターや掲示板を通して保護者や地域の方に知らせている。絵本の貸し出しや育児相談も実施している。子育て相談や園庭開放などしていきたいが、職員の配置やスペースの確保・安全性の問題があり、十分にはできていない。
		委員評価					該当する「判断基準」（　　）

評価分類	評価項目	評価	a	b	c	d	評価（または非該当）の理由
2 地域の子育て支援	（27）一時保育	自己評価	○				該当する「判断基準」（　　） 非該当 該当する「判断基準」（アイウエオカ） 受け入れの際には、面談を行い子どもの状況把握に努めている。年度当初の会議で一時保育の趣旨等を全職員に周知し、連携して対応している。
		委員評価					該当する「判断基準」（　　）

評価結果集計				
	a	b	c	d
自己評価	3	1	0	0
委員評価				

Ⅱ　子育て支援

①　この評価対象全般に関しての意見を記入してください。

②　なお、評価とは直接関係ないと思われても、貴保育所(園)の重点的に取り組んでいる点などを記入されても結構です。

○　年間を通して広く一日保育士体験を呼びかけ、保育所の取組･子どもの発達･子どもの行動を見てもらう場を設定しています。

○　気になる子どもへの対応に対しては、個別懇談･家庭訪問を実施するとともに、関係機関と連携しながら、保育を進めています。

Ⅲ　地域の住民や関係機関等との連携

評価分類	評価項目	評価	a	b	c	d	評価（または非該当）の理由
1 地域の住民や関係機関・団体との連携	（28）地域・関係機関との連携	自己評価	○				該当する「判断基準」（アイウエオ） 地域交流に積極的に参加し、地域の一員として活動している。地域会議や苦情処理の会議などに出席して、情報交換し、連携を図っている。 地域の関係機関などの情報を整理分類して、保護者に情報提供している。職員には会議の中で報告をしている。今後利用しやすいように整理の仕方を工夫していきたい。
		委員評価					該当する「判断基準」（　　）
	（29）小学校等との連携	自己評価		○			該当する「判断基準」（アウエカ）イオ 保幼小連携担当者を中心に、近隣の小学校や中学校と毎月の連絡会で情報交換をしている。小学校の授業参観に参加し卒園児の様子を参観する、聞き取りを行うなどをすることで、保育の見直しをしている。また中学生とは吹奏楽部演奏会や職場体験などを通して交流している。小学生や他の保育園児との交流は今後の課題である。
		委員評価					該当する「判断基準」（　　）
	（30）近隣住民への理解	自己評価		○			該当する「判断基準」（アイウエ）オ 入園時や保護者説明会の中で、子ども達が近所の方から温かく見守ってもらっている状況を伝えると共に、駐車マナーについてのお願いをしている。今後は散歩などで実際目にしたゴミなど、身近な体験を通してゴミ問題に関心をもつようにしていきたい。
		委員評価					該当する「判断基準」（　　）

Ⅲ　地域の住民や関係機関等との連携

評価分類	評価項目	評価	a	b	c	d	評価（または非該当）の理由
２　実習・ボランティア	（３１） 実習生や保育体験、ボランティアの受け入れ	自己評価	○				該当する「判断基準」（アイウエオカキク） 　受け入れについては、実習担当者研修に参加した担当者を定めている。それぞれにしおりを作成し、それをもとに意義や方針、注意事項など、事前オリエンテーションを行っている。また、個別に対応する時間を設けたり、担任を含めた反省会を実施したりしている。
		委員評価					該当する「判断基準」（　　）

評価結果集計				
	a	b	c	d
自己評価	2	2	0	0
委員評価				

Ⅲ　地域の住民や関係機関等との連携

①　この評価対象全般に関しての意見を記入してください。

②　なお、評価とは直接関係ないと思われても、貴保育所(園)の重点的に取り組んでいる点などを記入されても結構です。

○　中学校区の地域会議や〇〇交流センター主催の会議、または公民館の子育てサークルに参加し、連携を図っています。地域の保育所として関係機関との連携は今後さらに必要になってくると思われます。

○　保育所･小学校･中学校の連携を実施し、最新の子どもと親の姿の情報を得ながら今後の保育に生かしたいと思います。

Ⅳ　運営管理

評価分類	評価項目		評価 a	評価 b	評価 c	評価 d	評価（または非該当）の理由
1 基本方針	（32）基本方針等の策定	自己評価	○				該当する「判断基準」（アイウエオカ） 保護者には、「保育所のしおり」をもとに４月の入園、進級式の際に説明している。地域住民には保育所の概況を市民センターや区役所保健福祉課に提示している。また、園のホームページを開設し、情報提供している。
		委員評価					該当する「判断基準」（　　）
2 組織運営	（33）保育サービス向上への取組	自己評価		○			該当する「判断基準」（アイウエカ）オ 年度末にクラスごとに課題を出し合い、次年度に向けた話し合いをしている。ケース検討を充実させ、トラブルや保護者からの苦情を全職員で真摯に受け止め、解決に向け話し合い、保育の質の向上や改善につなげている。自己評価等の結果は全職員に周知していない。
		委員評価					該当する「判断基準」（　　） ４つの判断基準が該当していますが、ウが該当していないので、総合判断ではｃ評価になります。
	（34）職員研修	自己評価			○		該当する「判断基準」（アイエオ）ウカ 職員の希望や経験年数などを考慮のうえ研修機会を確保しているが、研修の年間計画は作成していない。研修内容が共有できるよう研修報告書はファイリングして他の職員が閲覧できるよう工夫している。
		委員評価					該当する「判断基準」（　　）

非該当の判断基準がある場合には、下記のように記載。

評価分類	評価項目	評価	a	b	c	d	評価（　　）理由
3 情報の管理	（35）守秘義務の遵守と記録の管理	自己評価	○				該当する「判断基準」（アイウエカキク）非該当オ 守秘義務に関しては、就業規則に定め、児童福祉法、保育所のマニュアル等の読み合わせや、職員会議での事例検討を実施している。現在のところ、守秘に関するトラブルは発生していない。子どもの記録に関する管理規定を定めている。
		委員評価					該当する「判断基準」（　　）
4 情報提供	（36）情報提供	自己評価	○				該当する「判断基準」（アイウエオカキ） 保護者への情報提供については、分かりやすいように情報を分類し、人目につく場所に掲示するなど、配慮している。入園、進級式や地域の方の保育所見学の際には、保育内容や方法について園のパンフレットを使用し、分かりやすく説明している。
		委員評価					該当する「判断基準」（　　）
5 安全・衛生管理	（37）安全・衛生管理	自己評価	○				該当する「判断基準」（アイウエオカキクケコサシスセ） 事故や災害に関する対応マニュアルを作成し、事故防止や安全管理に関する取組を実施している。食中毒などが発生した場合の対応についてのマニュアルを整備し、職員に周知している。また、事故、災害時に備え、地域の住民にも協力を依頼している。
		委員評価					該当する「判断基準」（　　）

評　価　結　果　集　計				
	a	b	c	d
自己評価	4	1	1	0
委員評価				

Ⅳ　運営管理

①　この評価対象全般に関しての意見を記入してください。

②　なお、評価とは直接関係ないと思われても、貴保育所(園)の重点的に取り組んでいる点などを記入されても結構です。

○　消防署、出張所、○○交流センター、小中学校との連携を通して、情報を広く収集及び公開をしています。引き続き連携を重ね、保育所の PR をしていきたいと思います。

○　虐待(ネグレクト)傾向のある保護者に対しては、区役所、民生委員･児童委員、保健師、子ども相談コーナー、小学校と連携を図りながら対応しています。

※　ⅠからⅣの評価基準には直接関係がないと思われても、貴保育所(園)の重点的に取り組んでいる点などをアピールしてください。

○　子どもの健やかな成長のため、一人一人を見つめ、保育所、家庭、地域が連携しながら、ともに育ちあう細かな保育を心がけています。

○　地域の特性を生かし、○○園(特別養護老人ホーム)訪問、しめ縄づくり、陶芸体験、サツマイモ植え(地域の畑)など、年長者との交流を大事にしています。

○　中学校との連携の中で、吹奏楽部との交流があります。目の前で聞く演奏を、子どもたちは目を丸くして聴き、いろいろな楽器の音色を楽しんでいます。

○　メダカのいる川・カニのいる溝・レンゲ畑の散歩・田畑の作物など自然のすばらしさを感じられる取組をしている。子ども達が自然を愛し、環境問題にも関心をもつ保育をこれからも実践したいと考えています。